

令和2年7月31日

各位

株式会社 徳  
ノリックス有限会社・有限会社和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

私どもの会社も含めて飲食業界は未だコロナの影響を受け、業績も以前に戻らない低止まりのまま推移しています。しかしながら先月の社員総会で申し上げた目標を今季は必ず達成するべく社員各員の頑張りとお創意工夫を強く希望いたします。

さて、私の知人が経営する飲食店での話ですが、コロナが原因とする売上げの低迷打破のために社長がいくつかの改善策を打ち出しました。それは今までのやり方を否定するような考えと作業もあったそうです。しかしながらそれらの改善命令も各組織のセクション長が自身が面倒なためにまっぴらと対応しないと聞きました。理由は「人手がない」、「時期が悪い」、「機材がない」と拒む。酷いものになると「このサイズがちょうど仲良くやるのに効率が良い」と組織改編を拒絶した中間管理職もいたそうです。現場の若手に聞くと、やれないことはありませんと返事があるのに、「人手がないから新しいことはできません」と拒絶する幹部もいたそうです。

その会社には毎日やってきた仕事を繰り返すことのマンネリズムと新しい失敗のリスクのあることを拒否するセクショナリズムがはびこっています。そしてその幹部の姿を見て意識のある若手は幻滅し、希望の見えない組織を早々に退職し、いつも人手不足の悪循環だそうです。

私どもの組織はそうであってはいけません。アフターコロナは現場改善できない管理職は下から抜かされるべきだと思います。キーワードは「Chenge」です。社員各自が意識を持って自分の持ち場を変えていきます。仕事の生産性を2倍にすること、売上を1.5倍にすること、経費を0.8倍にすることを目指していきます。それぞれのスタッフが仕事の仕組みをシンプルにし、システムに乗せやすく整形します。システムに乗らないものは思い切って切り捨てます。自分が集中担当したほうがいいものは自分が他の仕事も引き受けます。

あなたの持ち場で今日から何か一つずつ変えていきましょう。コロナ禍の流れは必ず変えられます。少なくともあなたの持ち場では。

#### 【社是】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

#### 【モットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世のため人のため～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々